

宮城県石巻市「土地活用ビジョン」の事業化に向けた官民連携による取組の推進

目的・背景

土地活用ビジョンの将来的な事業展開を見据え、官民連携による社会実験の実施や、管理・運営を担うプラットフォーム形成に向けた取組を推進

- 震災後、移転元地を含む地区の大部分が公園区域に指定され、南側を官民連携活動の場としているものの、具体的な活用の方向性が定まっていなかった。
- 令和5年度に、公園の管理・運営のプレイヤー候補となる有志と行政とで、目指したい空間とそこで実施したい事業内容を土地活用ビジョンとして策定。
- 今年度は土地活用ビジョンの実現に向け、社会実験による事業化可能性の検証を行うとともに、管理・運営を担う体制について検討。

取組とその効果

- 1 マネジメント会議を設置・開催し、管理・運営を見据えた**事業化の方向性（組織イメージ）が明確化**
- 2 各種社会実験を実施し、中瀬に求められる**ニーズと目指している方向性が合致していることを確認**
- 3 講演会等に参加した市民との**将来イメージの共有化により、つながり（コミュニティ）が形成**

取組経過

6～8月 官民のメンバーによる**マネジメント会議を設置・開催し管理・運営の枠組みをとりまとめる**とともに、**各種社会実験を実施**。

9～11月 マネジメント会議を開催し管理・運営の方針をとりまとめるとともに、**各種社会実験や講演会、ワークショップを実施し、併せて先進的な取組を行っている事例を視察**。

12～3月 マネジメント会議を開催し管理・運営の構想案をとりまとめるとともに、**各種社会実験や講演会等を実施**。

今後の方向性

- ・ **事業化を目指して社会実験を継続・充実**させるとともに、**ビジョン策定や社会実験実施のための全体マネジメントから、事業化を実現するための全体マネジメントへ移行**
- ・ **新しい課題（各種活動の受け皿となる拠点づくり、産学官連携・地域連携のもとでの商品・サービス開発など）解決や、管理・運営を担うための組織づくりを目指す**

位置図



航空写真



取組の様子



取組成果

